

では認められなかったが、女子においては、多少、年齢が増すともない高値を示す傾向を示した。血清総コレステロール 200 mg/dl 以上を高コレステロール者とすると全体では 8.5% であり、女子に多い傾向が認められた(図1)。上腕3頭筋部位の皮下脂肪厚については、ハーペンデンの脂厚計使用測定に行ったが、図2の如く、各年齢平均とも正常範囲内(20mm以下)であり、女子

に高い傾向が認められた。現在、この調査は継続中のため統計的検定を行っていないが、血清総コレステロールと肥満(皮下脂肪厚)との関係を見ると、図3に示すごとく3~5才の幼児においては相関は認められないようである。この関係は6~10才においても同様であった(図4)。

高コレステロール学童、生徒に対する食餌指導

岩手医大小児科 若 生 宏
研究協力者 畠山富而 西島浅香

岩手県石鳥谷町、秋田県鹿角市において、学童、生徒の血清総コレステロール 200 mg/dl 以上の男女、各々41名、31名を高コレステロール例として、食餌指導を行った。食餌指導後6カ月後の血清総コレステロール値は4表に示すごとく、1、2名上昇を見たものもあるが両地区とも低下していた。

これら対照児の中から高校生徒と総コレステロール 120 mg/dl 以下の高校生徒、各々43名、28名を選び、食餌指導前後の食餌摂取状況を3日間にわたり詳細に検べ栄養計算を行った。表5に示したものは平均値であるため、必ずしも適切な表現ではないが、総熱量に対する脂肪比は高コレステロール生徒は20.5%、動物性脂肪、植物性脂肪の比は、やや動物性が多かった。指導後は多少、

脂肪摂取量も減量したが動物性脂肪と植物性脂肪の比は2:3となった。また、低コレステロール生徒においては脂肪熱量比は16.6%、動物性脂肪植物性脂肪比は1:2であった。また、脂肪摂取のうち S-(1/2) P、食品中よりのコレステロール摂取は、指導後は、いずれも表6に示すごとく低下していた。とくに低コレステロール生徒の S-(1/2) P は低値であった。

表4 食餌指導前後の総コレステロール値

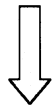
	石鳥谷 mg/dl	鹿角 mg/dl
指導前	215±13 n=41	225±23 n=31
指導後	193±24 n=41	192±31 n=31

表5 石鳥谷における脂肪のカロリー比

	熱量 cal	脂肪 g	脂肪比 %	動物性脂肪 %	植物性脂肪 %
総コレステロール 200 mg/dl 以上者の 食餌指導前 (高校生)	2,223 (N=24名)	49.5	20.5	10.7	9.8
食餌指導後 総コレステロール 120 mg/dl 以下の者 (高校生)	2,070	42.3	18.4	6.8	11.6
	2,431 (N=18名)	45.0	16.6	5.9	10.7

表6 脂肪摂取状況

	指導前後	S-(1/2) P	食品中よりのコレステロール摂取量
高コレステロール学童	前	43.8	1,316 mg
	後	34.9	898 mg
高コレステロール生徒	前	39.6	1,183 mg
	後	31.8	843 mg
低コレステロール生徒		27.8	1,095 mg



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



岩手県石鳥谷町,秋田県鹿角市において,学童,生徒の血清総コレステロール200mg/dl 以上の男女,各々 41 名,31 名を高コレステロール例として,食餌指導を行った。食餌指導後 6 ヶ月後の血清総コレステロール値は 4 表に示すごとく,1,2 名上昇を見たものもあるが両地区とも低下していた。